

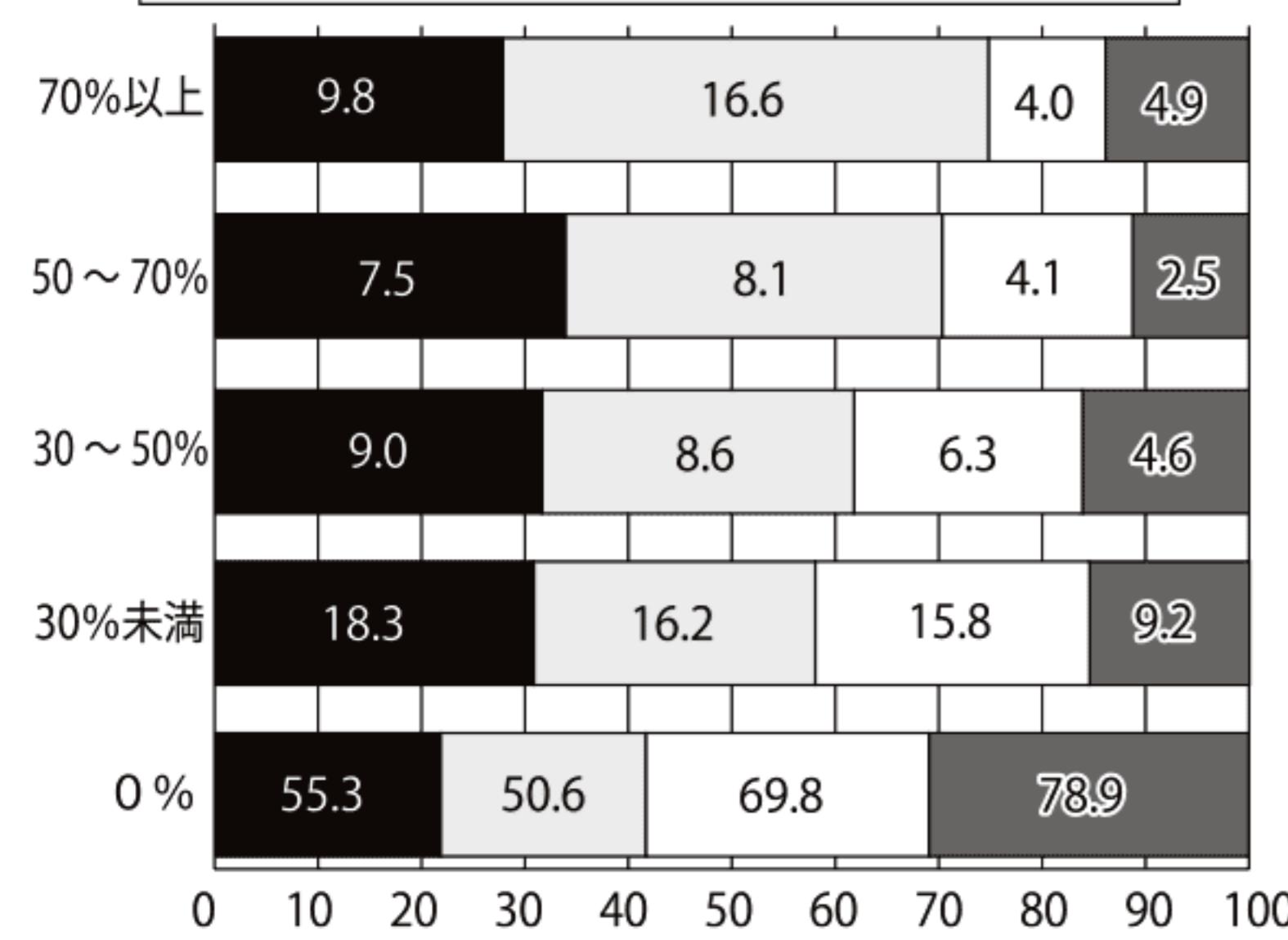
石油
協会

2018年度SS経営実態調査

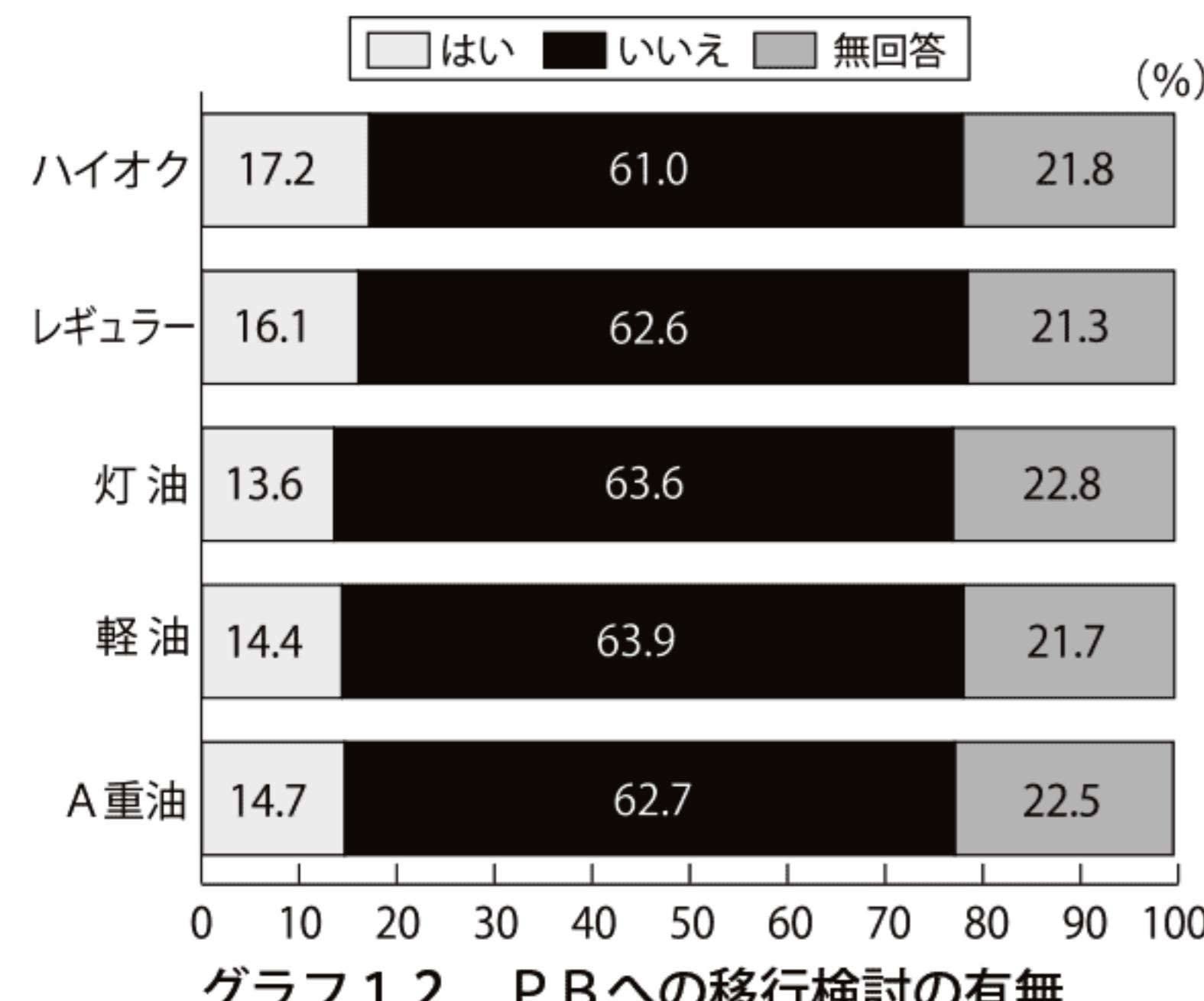
後編

表 セルフSS・フルSSの1SSあたりの月間財務状況
(単位:千円)

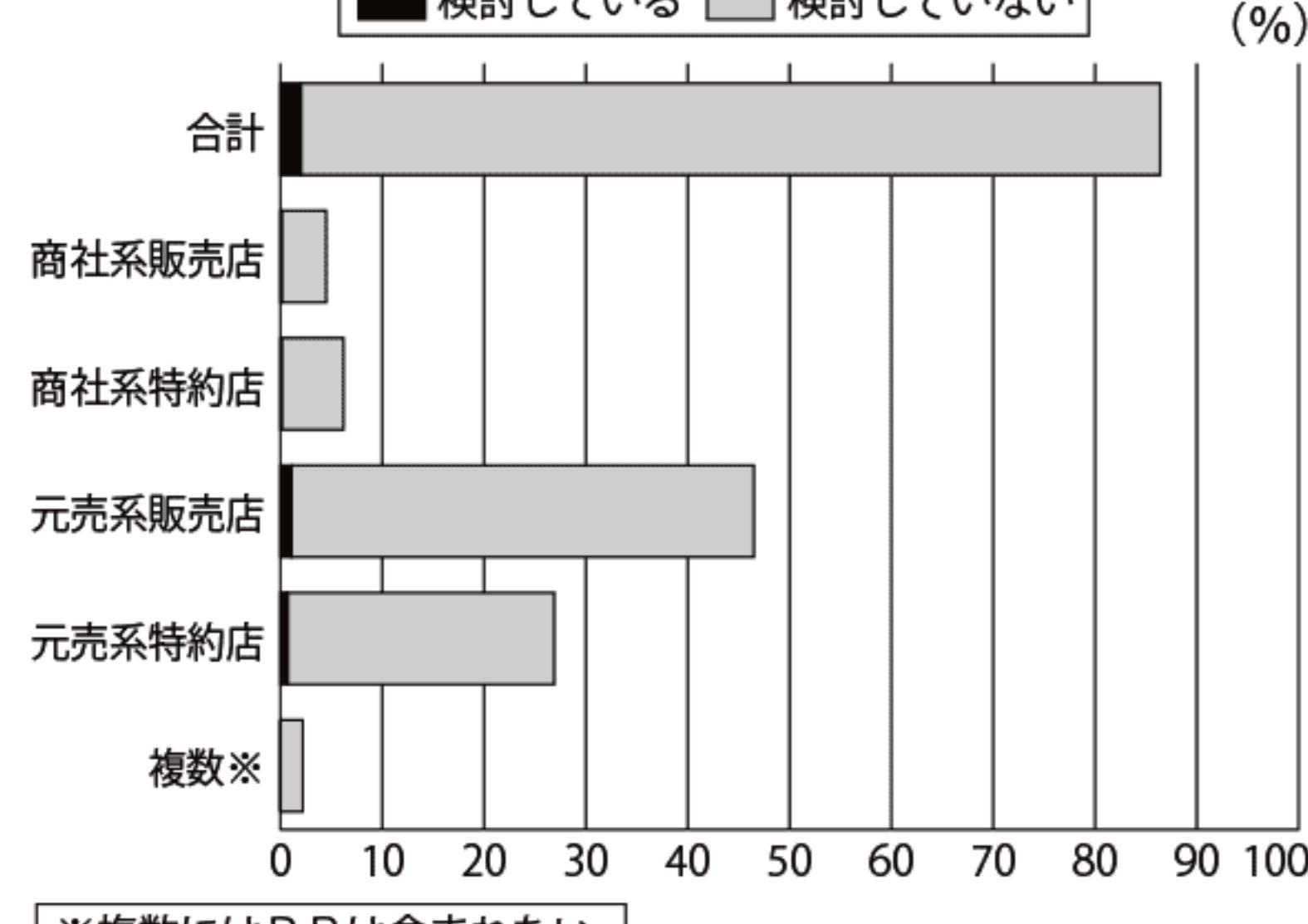
	セルフ522SS平均	フル1356SS平均
売上高	26,494	11,481
売上原価	24,071	9,883
粗利益	2,424	1,599
粗利率	9.1%	13.9%

グラフ10 総仕入れに占める系列外仕入れの比率
(■軽油 □灯油 □レギュラー ■ハイオク (%)

グラフ11 系列外仕入れの意向



グラフ12 PBへの移行検討の有無



セルフSSとフルSSの経営実態では、ガソリン月間販売量は、セルフが前年度比2.8%増の183キロ㍑、フルが7.6%減の49キロ㍑となった。セルフではガソリン販売が堅調に伸びる一方、フルでは苦戦が目立つ。セルフとフルの販売量の格差は0.3ポイント(P)上昇し、3.7倍に膨らんだ。ただし、収益性においてはフルが若干優位性を保つなど、フルサービスならではのきめ細かな接客やサービス力などが収益向上の一翼を担っていることがうかがえる。一方、需給適正化の進展により、系列玉と業転玉の卸価格差の縮小などを背景に、系列回帰の傾向が鮮明となった。

系列回帰の動きくつきり

セルフ販売数量格差フルの3.7倍

セラフSSの労務状況
人手不足深刻化が懸念

1SSあたりの従業員数は横ばいの5.6人となった。正社員が0・1人増の2・9人へ増加する一方で派遣・契約社員・パート・アルバイトは減少の1・9人となるなど、人手不足を背景に正社員化を進める傾向が高まってきた。これがうかがえる結果となった。(グラフ7)

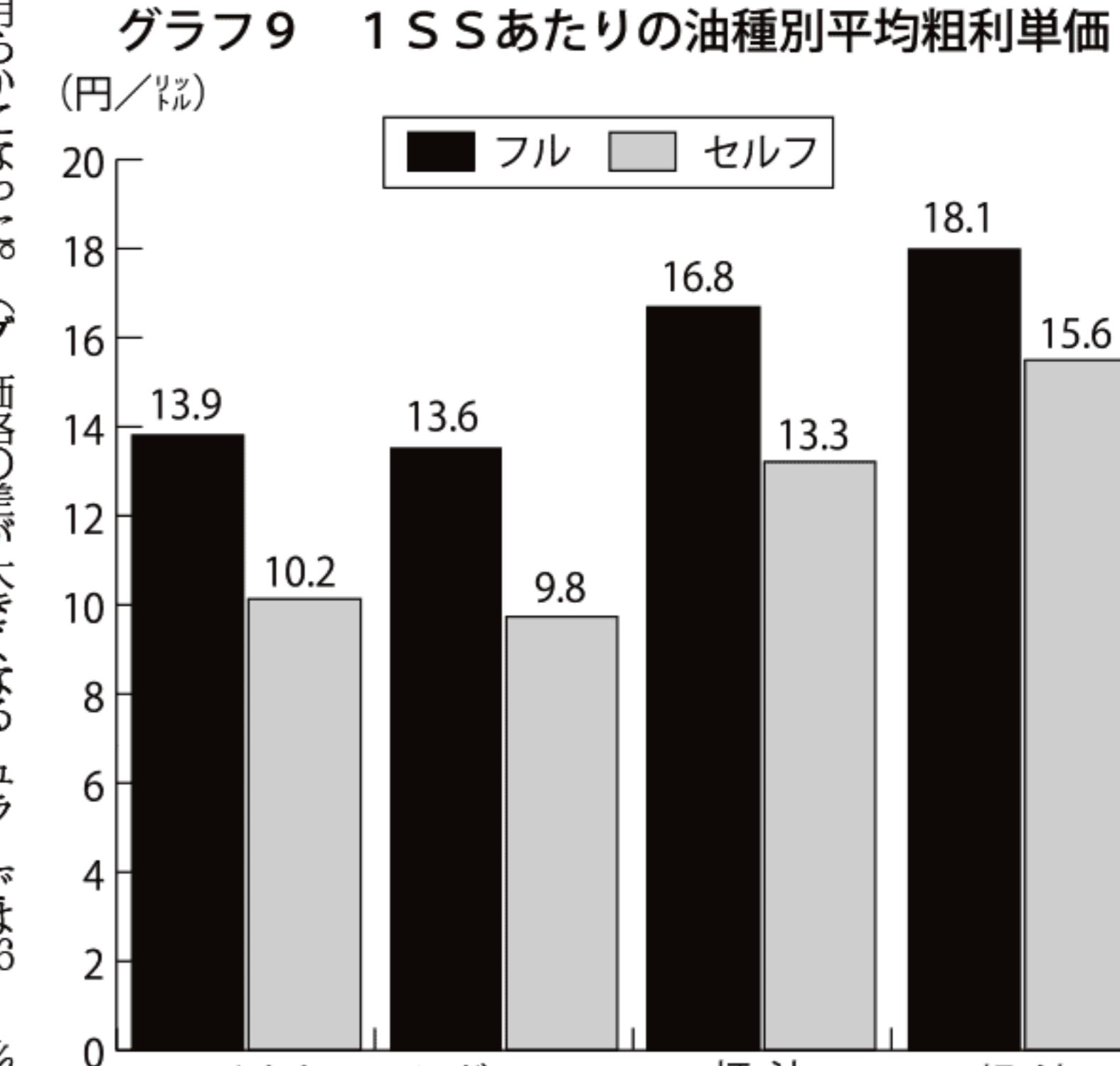
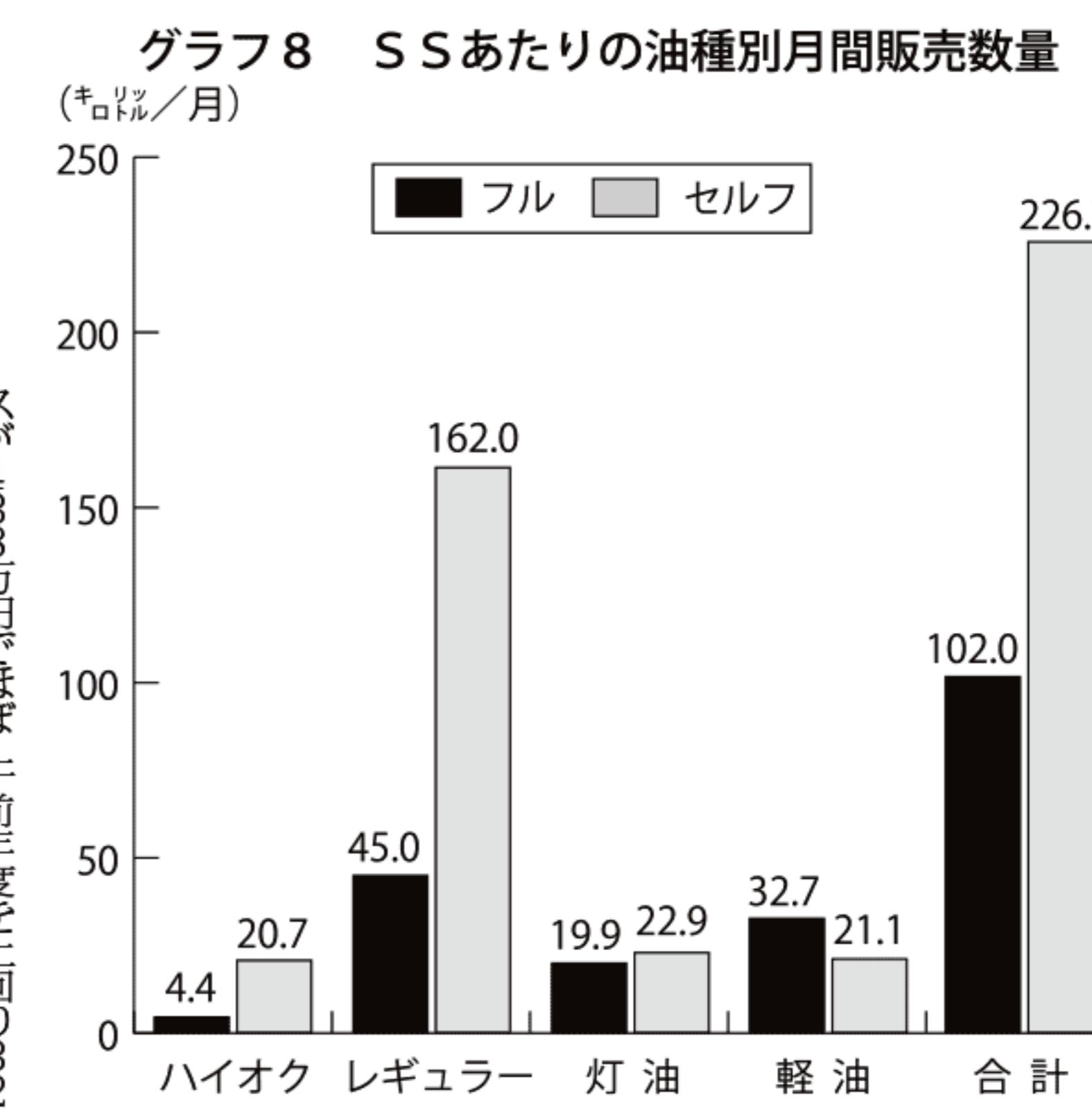
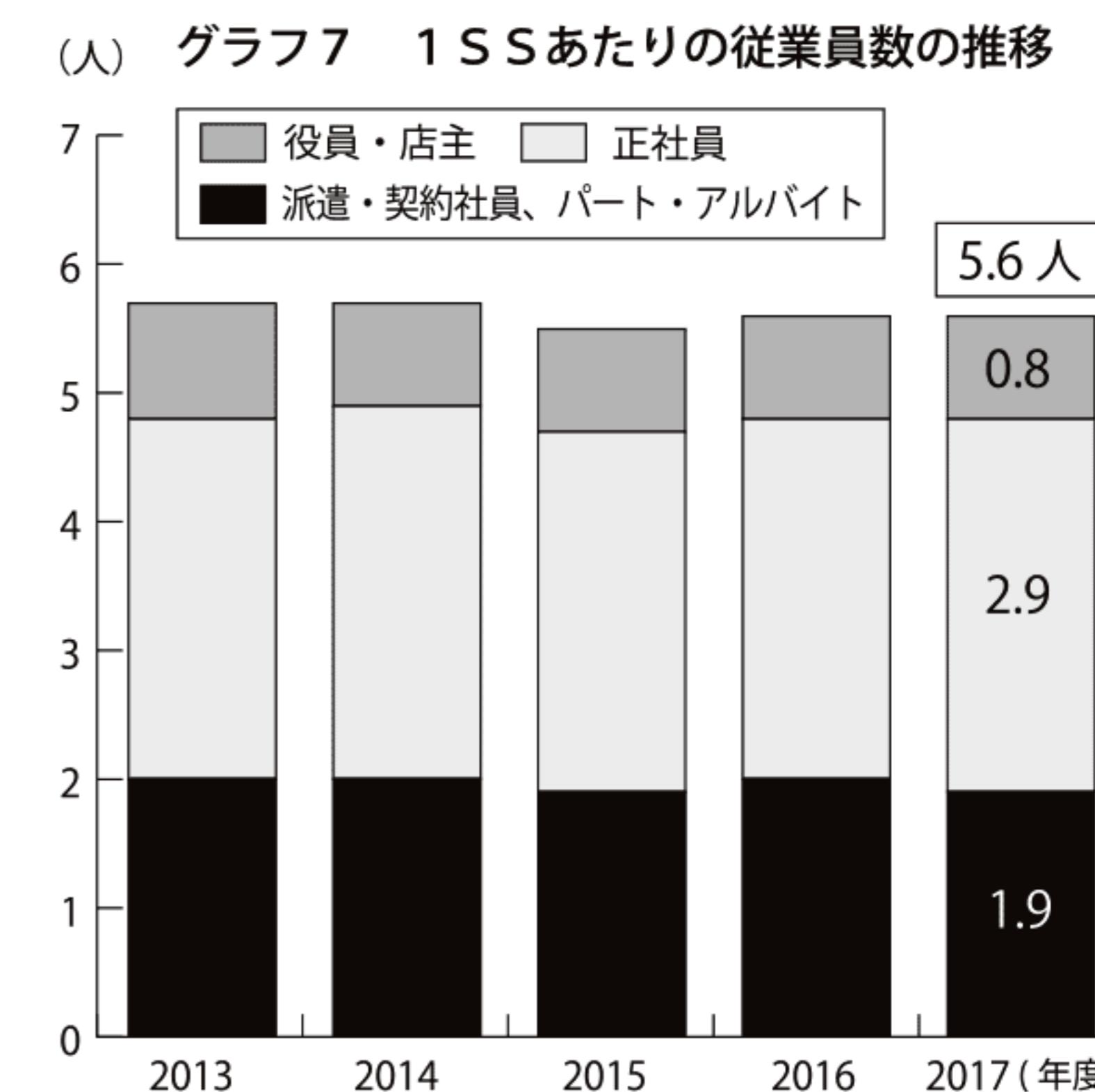
1SSあたりの従業員数と17年度未登録SS数から販売業界全体の従業員数を推計する。最近のSSの減滅傾向を反映し、前年度平均年収は所長クラス

▽石油製品販売業経営実態調査とは。この調査は石油協会が全国の石油販売業者を対象に1975年から毎年実施しているもの。毎年、SSの経営実態を詳細に調査・分析する唯一の報告書。2017年度は回答率は24・8%だった。

1SSあたりの従業員数は横ばいの5.6人となった。正社員が0・1人増の2・9人へ増加する一方で派遣・契約社員・パート・アルバイトは減少の1・9人となるなど、人手不足を背景に正社員化を進める傾向が高まってきた。これがうかがえる結果となった。(グラフ7)

1SSあたりの従業員数と17年度未登録SS数から販売業界全体の従業員数を推計する。最近のSSの減滅傾向を反映し、前年度平均年収は所長クラス

▽石油製品販売業経営実態調査とは。この調査は石油協会が全国の石油販売業者を対象に1975年から毎年実施しているもの。毎年、SSの経営実態を詳細に調査・分析する唯一の報告書。2017年度は回答率は24・8%だった。



挑み続ける情熱を。

可能性を目の前にして、歩みを止めない。
まっすぐに新しい世界を切り開く。
総合エネルギー企業へ。
前へ進む勇気は、それぞれの胸の内にある。

私たちのエネルギーで
未来を元気にします。



昭和シェル石油